

教育・文化



まちの特性を知り、個性と人間性を大切にしたい。豊かな心と文化を育む人づくりに務めています。

豊かな人間性と創造性を育むまち



小学生がかねやまホームを訪問し、笹巻きづくりを楽しむ

町には保育所、小学校、中学校が二つずつ、県立高校が二校あります。出生者の減少に伴い、児童や生徒の数は年々少なくなっています。この様な中、小規模校ならではの、きめ細やかな教育や、個性や才能が引き出せる学校づくりを町では目指し、地域の食文化や生活、伝統などへの理解を深める教育を図ります。

また、生涯学習の取り組みとして、中央公民館や地区公民館を中心に、各種教室や講座を開催し、自主的学習ができるように取り組んでいます。そして、スポーツやレクリエーションを通じた、健康づくりや仲間づくりを進めています。



芸能発表会で山入歌舞伎を上演



ウォーキング教室で健康づくり

農業・産業



豊かな大地に恵まれた金山町では基幹産業である農業の振興を図るとともにまち全体の環境を一つの資源と考えた観光の振興を図っています。

地域製品のブランド化を進めるまち



JR会津川口駅前の無人販売所のありがとうセール



若者定住を進めるUIJターン研修



太郎布高原で採れたソバとアザギ大根

町の農業は経営規模が小さく、またそれに従事しているのは、お年寄りが多くなっています。主な農作物は米やソバ、野菜類ですが、地域の特色を生かした農作物の栽培を町では進めています。生活排水の入らない清流域で作る「大源流米」や、太郎布高原で作る、高原野菜やソバ、アザギ大根などのブランド化を進めます。そして、生産、加工、販売、消費と一貫した産業を複合化する「ふるさと産業コンビナー」づくりを推進し、農業

所得の拡大を図ります。町には建設や建築の会社のほかに、製材、大理石加工、縫製、山菜加工などの工場があります。いずれも小規模で、若者に魅力のある職場とは言い難い様子です。しかし、町への若者定住を進めるには、雇用機会の確保が絶対条件となります。そのためにも、若者に魅力のある企業の誘致に努めていきます。また、他の町村への通勤も視野に入れながら、近隣町村との連携を図り、広域的な視点での取り組みを行っていきます。